

事業名：交通対策管理経費

企画課 企画係

政策	01 自然・環境			戦略					
取組の 基本方針	01 人と自然の共生			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	平成22年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果	
対象（誰、何に対して事業を行うのか）	野幌森林公園内基線道路一般車両通行者
手段（事務事業の内容、やり方）	野幌森林公園内基線道路の入り口等に看板を設置し、交通量について測定する。
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	一般車両の通行を抑制することで自然環境の保全が図られる。

指標・事業費の推移						
	区分	単位	25年度実績	26年度実績	27年度予算	28年度予算
対象指標 1	江別市民	人	120,802	120,335	120,335	119,587
対象指標 2						
活動指標 1	通行抑制看板設置数	枚	4	4	4	4
活動指標 2	交通量調査	回	2	1	1	1
成果指標 1	調査1回当たりの交通量（自動車）	台	70	56	70	46
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	38	23	20	30
正職員人件費 (B)		千円	1,172	1,963	1,173	1,530
総事業費 (A+B)		千円	1,210	1,986	1,193	1,560

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
28年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>交通量調査（年1回）</li> <li>関係車両証更新（地元自治会用）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>交通量調査経費 20千円</li> <li>関係車両証更新経費 10千円（隔年実施）</li> </ul>

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
28年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				
見直し				
新規				○
休止				
廃止				
その他				

事業名：都市景観創出事業

都市計画課 計画係

政策	05 都市基盤			戦略					
取組の 基本方針	01 市街地整備の推進			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	昭和62年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果	
対象（誰、何に対して事業を行うのか）	
市民	
手段（事務事業の内容、やり方）	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・企画展の開催と景観パンフレットの発行により、景観に関する啓発・情報発信を行う。</li> <li>・3年毎に都市景観賞を開催し、市民や企業などによる優れた景観創出・活動に対する表彰を行う。</li> <li>・美原大橋のライトアップを行い、江別市の特色ある都市景観の創出を図る。（節電に伴い、24年度7月より休止）</li> </ul>	
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	
都市景観に対する意識の高揚と、江別らしい景観づくりへの理解と関心を高める。	

指標・事業費の推移						
	区分	単位	25年度実績	26年度実績	27年度予算	28年度予算
対象指標 1	市民	人	120,802	120,335	120,335	119,587
対象指標 2						
活動指標 1	企画展の開催日数	日	21	21	21	21
活動指標 2	美原大橋ライトアップ日数	日	0	0	0	0
成果指標 1	企画展参加者数	人	412	462	450	450
成果指標 2		件				
事業費 (A)		千円	659	141	665	1,161
正職員人件費 (B)		千円	7,813	4,712	4,693	6,121
総事業費 (A+B)		千円	8,472	4,853	5,358	7,282

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
28年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・都市景観賞の開催</li> <li>・まちづくり彩々展の開催</li> <li>・景観パンフレットの作成及び配布</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・都市景観賞の開催経費 720千円</li> <li>・まちづくり彩々展の開催経費 378千円</li> </ul>

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
28年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				
見直し				
新規				○
休止				
廃止				
その他				

事業名：大麻地区住環境活性化事業

政策推進課参事（住環境活性化・公共交通）

政策	05 都市基盤			戦略	3 次世代に向けた住みよいえつづくり				
取組の基本方針	01 市街地整備の推進			プロジェクト	B 駅を中心とした暮らしやすいまちづくり（えべつ版コンパクトなまちづくり）				
				プログラム	③ 高齢者等がいいききと活動しやすい居住環境の充実				
開始年度	平成22年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
大麻地区の住民									
手段（事務事業の内容、やり方）									
<ul style="list-style-type: none"> <li>平成21年度に策定した「大麻団地まちづくり指針」に基づき、住まいに関する相談窓口の設置など、地区の高齢化に対応する住環境改善の取組を行う。</li> <li>大麻地区の課題に取り組む市民組織である「江別市安心生活まちづくり推進事業運営協議会」の活動を支援する。</li> </ul>									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
高齢者を含む多様な方々にとって住みやすい住環境の整備やまちづくり活動等を通じ、居住人口が維持・増加する。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	25年度実績	26年度実績	27年度予算	28年度予算
対象指標 1	大麻地区の人口	人	28,652	28,801	28,801	28,631
対象指標 2						
活動指標 1	まちづくり活動等の事業数	件	4	5	5	3
活動指標 2						
成果指標 1	住まい相談件数	件	3	7	10	10
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	3,149	2,943	1,738	4,992
正職員人件費 (B)		千円	9,376	2,356	9,386	9,181
総事業費 (A+B)		千円	12,525	5,299	11,124	14,173

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
28年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域おこし協力隊による住み替え相談窓口の運営、ホームページ等による情報発信等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域おこし協力隊員の報酬等 3,949千円</li> <li>車両、パソコン等管理運営経費 1,043千円</li> <li>※27年度補正予算を28年度へ繰越したため、28年度当初予算が4,992千円である。</li> <li>【28年度繰越事業額…1,608千円、28年度総事業費…15,781千円】</li> <li>ホームページ整備、PR等 1,482千円</li> <li>拠点用備品等賃借 126千円</li> </ul>

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
28年度への改善方向性	平成28年度から地域おこし協力隊を導入し、大麻地区に拠点を設け、住み替え相談を実施するとともに、ホームページによる情報発信等を行う。	減少	維持	増加
維持				
見直し				○
新規				
休止 廃止 その他				

事業名：生活バス路線運行補助事業

政策推進課参事（住環境活性化・公共交通）

政策	05 都市基盤			戦略					
取組の 基本方針	02 交通環境の充実			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	事業補助

事務事業の目的と成果	
対象（誰、何に対して事業を行うのか）	
生活バス路線事業者	
手段（事務事業の内容、やり方）	
<p>「江別市生活バス路線運行費補助金交付要綱」に基づき、国や道の補助対象とならない赤字バス路線を対象として、補助金を交付する。</p> <p>概要：赤字額の1/2、上限100万円</p> <p>要件：運行回数1日1回以上、輸送量5人以上150人以下、運行キロ程10km以上</p>	
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	
生活バス路線の運行が維持される。	

指標・事業費の推移						
	区分	単位	25年度実績	26年度実績	27年度予算	28年度予算
対象指標1	バス路線数（系統数）	系統	34	34	34	33
対象指標2						
活動指標1	補助金額	千円	3,997	3,950	4,059	2,000
活動指標2	補助対象バス路線数	路線	3	3	3	2
成果指標1	バス路線の廃止数（系統数）	系統	0	0	0	1
成果指標2						
事業費（A）		千円	3,997	3,950	4,059	2,000
正職員人件費（B）		千円	2,344	2,356	2,347	2,295
総事業費（A+B）		千円	6,341	6,306	6,406	4,295

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
28年度	バス路線運行費に対し補助金を支出	バス路線運行費への補助金 2,000千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
28年度への改善方向性	当該事業の対象であった3路線中、当別町との協調補助を行ってきた当江線は、利用者の大半を占める当別町からの申入れにより、平成28年4月をもって、廃止するに至った。	減少	維持	増加
維持				
見直し				
新規				
休止				
廃止		○		
その他				

事業名：豊幌駅舎共同管理経費（補助金）

政策推進課参事（住環境活性化・公共交通）

政策	05 都市基盤			戦略					
取組の 基本方針	02 交通環境の充実			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	昭和59年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	事業補助

<b>事務事業の目的と成果</b>									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
豊幌地区の住民									
手段（事務事業の内容、やり方）									
「豊幌駅業務運営費補助要綱」に基づき、豊幌駅の管理運営を行う自治会に対し、当該管理運営経費の一部を補助する。									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
豊幌駅利用者の利便性、安全性が確保される。									

<b>指標・事業費の推移</b>						
	区分	単位	25年度実績	26年度実績	27年度予算	28年度予算
対象指標 1	豊幌地区の人口	人	2,828	2,767	2,767	2,700
対象指標 2						
活動指標 1	補助金額	千円	550	550	550	550
活動指標 2						
成果指標 1	豊幌駅の利用に関する苦情件数	件	0	0	0	0
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	550	550	550	550
正職員人件費 (B)		千円	781	393	782	765
<b>総事業費 (A+B)</b>		<b>千円</b>	<b>1,331</b>	<b>943</b>	<b>1,332</b>	<b>1,315</b>

	<b>事業内容（主なもの）</b>	<b>費用内訳（主なもの）</b>
28年度	駅業務運営に対し補助金を支出	駅業務運営への補助金 550千円

<b>改革案（2月時点）</b>		<b>改革方向性（コスト）</b>		
28年度への改善方向性	維持 見直し 新規 休止 廃止 その他	減少	維持	増加
維持				
見直し			○	
新規				
休止				
廃止				
その他				

事業名：公共交通利用促進対策事業

政策推進課参事（住環境活性化・公共交通）

政策	05 都市基盤			戦略	3 次世代に向けた住みよいいつづくり				
取組の基本方針	02 交通環境の充実			プロジェクト	B 駅を中心とした暮らしやすいまちづくり（えつ版コンパクトなまちづくり）				
				プログラム	② 交通ネットワークの充実				
開始年度	平成25年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	補助	補助金	

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
市民									
手段（事務事業の内容、やり方）									
<ul style="list-style-type: none"> <li>・市、事業者、学識者等で構成される、地域公共交通の課題を検討する組織を設置し、課題解決策を検討する。</li> <li>・公共交通の利用促進を図るとともに、市民への情報提供として、バス路線マップの配布や市ホームページ、広報誌による情報発信を行う。</li> <li>・公共交通に関するアンケートや利用実態調査等をもとに、バス路線再構築等に向けた交通計画を策定する。</li> </ul>									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
公共交通の利便性が向上し、利用者が増加する。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	25年度実績	26年度実績	27年度予算	28年度予算
対象指標 1	市民	人	120,802	120,335	120,335	119,587
対象指標 2						
活動指標 1	利便性向上や利用促進等のために行った事業数	件	4	4	4	4
活動指標 2						
成果指標 1	バス輸送人員	千人	548	548	548	523
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	2,480	2,934	0	4,569
正職員人件費 (B)		千円	10,157	2,356	10,169	9,946
総事業費 (A+B)		千円	12,637	5,290	10,169	14,515

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
28年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・調査分析、計画作成等業務</li> <li>・地域公共交通会議開催</li> <li>・バス路線マップ作成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・調査分析、計画作成等業務 4,131千円</li> <li>・地域公共交通会議開催 254千円</li> <li>・バス路線マップ作成 184千円</li> </ul> <p>※26年度補正予算を27年度へ繰越したため、27年度当初予算が0円である。 【27年度繰越予算…18,338千円、27年度総事業費…28,507千円】</p>

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
28年度への改善方向性	バス実証運行の実施結果等を踏まえ、バス路線の再構築を検討するとともに、全市的な視点から市内の公共交通のあり方等を検討し、市全体の交通計画の作成を進める。	減少	維持	増加
維持				
見直し		○		
新規				
休止				
廃止 その他				

事業名： 大学連携調査研究助成事業

企画課 企画係

政策	08 協働			戦略	1 ともにつくる協働のまちづくり					
取組の基本方針	01 協働のまちづくりの推進			プロジェクト	B 大学が活躍するまちづくり					
				プログラム	① 大学の得意分野を活かした地域の活性化					
開始年度	平成21年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	政策的補助	

事務事業の目的と成果	
対象（誰、何に対して事業を行うのか）	
市内大学に所属する教員（短期大学部含む）	
手段（事務事業の内容、やり方）	
市内大学に所属する教員が行う江別市の課題解決や地域活性化に貢献する調査研究事業に対し、大学連携調査研究事業補助金を交付する。 【根拠要綱】江別市大学連携調査研究事業補助金交付要綱 【補助率及び上限額】補助対象経費の100%を1,000千円を上限に補助	
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	
教員が地域に目を向け、江別市の課題解決や地域活性化に資する研究を行うことで、地域の知的資源としての大学がまちづくりに活かされる。	

指標・事業費の推移						
	区分	単位	25年度実績	26年度実績	27年度予算	28年度予算
対象指標 1	市内大学所属教員数（短大含む）	人	489	486	486	475
対象指標 2						
活動指標 1	補助金額	千円	2,525	2,475	3,000	3,000
活動指標 2						
成果指標 1	補助事業本数	件	4	4	3	4
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	2,714	2,485	3,020	3,039
正職員人件費 (B)		千円	3,907	3,927	2,347	3,060
総事業費 (A+B)		千円	6,621	6,412	5,367	6,099

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
28年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>市内大学の教員が行う江別市の課題解決や地域活性化に貢献する調査研究事業に対し補助金を交付する。</li> <li>前年度の補助事業について、事業報告会を開催する。</li> </ul>	江別市大学連携調査研究事業補助金 3,000千円 大学連携事業報告会会場使用料 39千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
28年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				
見直し				○
新規				
休止				
廃止				
その他				

事業名：自治基本条例啓発事業

政策推進課 主査（政策推進）

政策	08 協働			戦略					
取組の基本方針	01 協働のまちづくりの推進			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	平成20年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
市民									
手段（事務事業の内容、やり方）									
「江別市自治基本条例」の理念や原則などの内容について、情報発信を中心とする意識啓発を行う。									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
「江別市自治基本条例」を知る市民が増え、内容に対する理解が高まる。									

指標・事業費の推移							
	区分	単位	25年度実績	26年度実績	27年度予算	28年度予算	
対象指標 1	市民	人	120,802	120,335	120,335	119,587	
対象指標 2							
活動指標 1	資料・パンフレット等の発行回数、及びHPの情報更新回数	回	8	10	6	6	
活動指標 2	資料・パンフレット等の配布枚数	枚	4,392	4,082	4,100	4,100	
成果指標 1	自治基本条例の認知度	%	38.7	34.7	39.5	39.5	
成果指標 2							
事業費 (A)		千円	750	121	123	1,599	
正職員人件費 (B)		千円	3,907	785	782	3,060	
総事業費 (A+B)		千円	4,657	906	905	4,659	

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
28年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>自治基本条例検討委員会の開催</li> <li>自治基本条例啓発リーフレットの配布</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自治基本条例検討委員会経費 538千円</li> <li>自治基本条例パンフレット作成経費 131千円</li> <li>自治基本条例検討アンケート集計委託 900千円</li> </ul>

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
28年度への改善方向性	平成28年度は、「江別市自治基本条例」に定める、4年を超えない期間ごとの検討年次に当たるため、同条例の規程に基づく、条文見直しの必要性などの検討を行う。	減少	維持	増加
維持				
見直し				○
新規				
休止 廃止 その他				



事業名： 大学連携学生地域活動支援事業

企画課 企画係

政策	08 協働			戦略	1 ともにつくる協働のまちづくり				
取組の 基本方針	01 協働のまちづくりの推進			プロジェクト	B 大学が活躍するまちづくり				
				プログラム	③ 学生の力を活かしたまちづくり				
開始年度	平成26年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	政策的補助

事務事業の目的と成果	
対象（誰、何に対して事業を行うのか）	市内大学に所属する学生（短期大学部含む）
手段（事務事業の内容、やり方）	市内大学に所属する学生が行う、自主的な取り組みによる地域住民とのふれあいやまちづくりに関する事業に対し、補助金を交付する。 【根拠要綱】江別市大学連携学生地域活動支援事業補助金交付要綱 【補助率及び上限額】補助対象経費の100%を100千円を上限に補助
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	市内大学に通う学生が江別市の一員としての意識を持ち、自主的な活動を通して地域とのつながりを深めることで、地域と大学の協働によるまちづくりが行われる。

指標・事業費の推移						
	区分	単位	25年度実績	26年度実績	27年度予算	28年度予算
対象指標 1	市内大学に在学する学生数（短期大学部含む）	人	0	10,711	10,711	10,305
対象指標 2						
活動指標 1	補助金額	千円	0	211	300	300
活動指標 2						
成果指標 1	補助事業本数	件	0	5	3	4
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	0	241	330	325
正職員人件費 (B)		千円	0	5,890	2,738	3,060
総事業費 (A+B)		千円	0	6,131	3,068	3,385

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
28年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>市内大学に所属する学生が行う、自主的な取り組みによる地域住民とのふれあいやまちづくりに関する事業に対し、補助金を交付する。</li> <li>市内大学の学生と地域とのつながりを深める目的で、学生に江別市の課題解決や地域の活性化に資する学生発のまちづくり提案の支援を行う。</li> </ul>	江別市大学連携学生地域活動支援事業補助金 300千円 えべつ未来づくり学生コンペティション実行委員会負担金 25千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
28年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				
見直し				
新規				○
休止				
廃止				
その他				

事業名：大学版出前講座支援事業

企画課 企画係

政策	08 協働			戦略	1 ともにつくる協働のまちづくり				
取組の 基本方針	01 協働のまちづくりの推進			プロジェクト	B 大学が活躍するまちづくり				
				プログラム	① 大学の得意分野を活かした地域の活性化				
開始年度	平成26年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

<b>事務事業の目的と成果</b>									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
市民・大学									
手段（事務事業の内容、やり方）									
市内4大学の教員が地域で行う出前講座の開催を支援するため、大学と地域、市民、企業等とのコーディネート、事業PRを行う。									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
大学の地域貢献として、知的資源が活用されることで、大学と自治会や企業等、地域との協働が推進される。									

<b>指標・事業費の推移</b>						
	区分	単位	25年度実績	26年度実績	27年度予算	28年度予算
対象指標1	出前講座講師登録者数	人	0	22	26	64
対象指標2						
活動指標1	出前講座実施件数	件	0	0	10	5
活動指標2						
成果指標1	出前講座参加者数	人	0	0	400	100
成果指標2						
事業費(A)		千円	0	0	44	44
正職員人件費(B)		千円	0	1,963	1,564	3,060
<b>総事業費(A+B)</b>		<b>千円</b>	<b>0</b>	<b>1,963</b>	<b>1,608</b>	<b>3,104</b>

	<b>事業内容（主なもの）</b>	<b>費用内訳（主なもの）</b>
28年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>出前講座受付及び大学との調整</li> <li>事業の周知PR（出前講座パンフレット印刷配布、ホームページ、広報等）</li> <li>講座資料の印刷</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>出前講座パンフレット、講座配付資料印刷経費 44千円</li> </ul>

<b>改革案（2月時点）</b>		<b>改革方向性（コスト）</b>		
28年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				
見直し				
新規				○
休止				
廃止				
その他				

事業名：協働を知ってもらう啓発事業

政策推進課 主査（政策推進）

政策	08 協働			戦略	1 ともにつくる協働のまちづくり				
取組の 基本方針	01 協働のまちづくりの推進			プロジェクト	A 多様な主体が協働するまちづくり				
				プログラム	① 協働によるまちづくり				
開始年度	平成26年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	補助	補助金	

<b>事務事業の目的と成果</b>									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
小学4年生・中学2年生及びその保護者等									
手段（事務事業の内容、やり方）									
自治基本条例に掲げる「協働」の意識啓発を目的とし、身近な具体例を使うなどにより、小・中学生にも理解されやすい内容とした、リーフレット等の配布や出前講座の実施する。									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
「江別市自治基本条例」の理念を実現するために重要な「協働」の意識が、将来のまちづくりを担う子どもたちに浸透している。									

<b>指標・事業費の推移</b>							
	区分	単位	25年度実績	26年度実績	27年度予算	28年度予算	
対象指標 1	小学4・6年生（H26・27）/小学4年生・中学2年生（H28～）	人	0	2,073	1,943	2,063	
対象指標 2							
活動指標 1	リーフレット等作成種類	件	0	1	0	1	
活動指標 2	出前講座回数（小学生）	回	0	74	67	36	
成果指標 1	啓発を受けた小学生	人	0	2,370	1,943	1,006	
成果指標 2	啓発を受けた中学生	人	0	0	0	1,057	
事業費（A）		千円	0	1,149	466	1,020	
正職員人件費（B）		千円	0	2,356	2,347	2,295	
<b>総事業費（A+B）</b>		<b>千円</b>	<b>0</b>	<b>3,505</b>	<b>2,813</b>	<b>3,315</b>	

	<b>事業内容（主なもの）</b>	<b>費用内訳（主なもの）</b>
28年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>リーフレット等の配布</li> <li>出前講座の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>リーフレットの配布及び出前講座委託料 330千円</li> <li>パンフレット作成経費 690千円</li> </ul>

<b>改革案（2月時点）</b>		<b>改革方向性（コスト）</b>			
28年度への改善方向性	過去2箇年の結果を踏まえ、事業効果をさらに向上させるため、対象に中学生を加えることとし、小学4・6年生に対する啓発から、小学6年生・中学2年生への啓発に変更する。	改革方向性（成果）	減少	維持	増加
維持					○
見直し					
新規					
休止					
廃止 その他					

事業名： 学生地域定着自治体連携事業

企画課参事（地方創生）

政策	08 協働			戦略	1 ともにつくる協働のまちづくり				
取組の基本方針	01 協働のまちづくりの推進			プロジェクト	B 大学が活躍するまちづくり				
				プログラム	③ 学生の力を活かしたまちづくり				
開始年度	平成27年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	補助	補助金	

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
市内に所在する大学又は短大に在学している学生									
手段（事務事業の内容、やり方）									
学生地域定着推進広域連携協議会（道内自治体や関係団体等の広域連携により設立した団体）を運営し、学生の地域活動（インターンシップ、ボランティア活動、地域イベント参加等）や大学の調査研究と受入先とのマッチングを行うとともに、活動経費の支援を行う。									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
学生の地域活動や大学の調査研究等の地域とのマッチングを図ることで、学生の地域への就職、定住など地域定着を推進するとともに、大学の活性化を図る。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	25年度実績	26年度実績	27年度予算	28年度予算
対象指標 1	市内大学に在学する学生数（短期大学部含む）	人	0	0	0	10,305
対象指標 2	協議会加入自治体数	団体	0	0	0	8
活動指標 1	地域活動等実施プログラム数	件	0	0	0	34
活動指標 2						
成果指標 1	市内の地域活動等に参加した延べ学生数	人	0	0	0	1,078
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	0	0	0	0
正職員人件費 (B)		千円	0	0	0	7,651
総事業費 (A+B)		千円	0	0	0	7,651

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
28年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>学生地域定着推進広域連携協議会の運営</li> <li>学生の地域活動等の支援（市内で行われる活動）</li> </ul>	※27年度補正予算を28年度へ繰り越したため、28年度当初予算は0円である。 【28年度繰越事業費…4,892千円、28年度総事業費…12,543千円】 ・協議会負担金（協議会運営：自治体人口案分）3,125千円 ・協議会負担金（学生の活動経費支援：費用弁償相当）1,617千円 ・消耗品等購入 150千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
28年度への改善方向性	若い世代の首都圏や札幌など、大都市圏への流出が課題となっている中、4大学1短大があり約1万人の学生が在学している地域特性を生かして、道内自治体や市内関係団体と連携して「協議会」を平成27年12月に設立し、学生の就職や定住等、地域への定着を目的として、学生の地域活動等と受入先とのマッチング、活動支援を行うこととした。 平成27年度の3自治体による試行事業から、平成28年度は協議会参画の8自治体が事業を開始することにより、学生の地域活動等を活性化させる。	改革方向性（コスト）		
		減少	維持	増加
維持				
見直し				○
新規				
休止				
廃止				
その他				

事業名：男女の出会いの場づくり支援事業 企画課 企画係

政策	08 協働			戦略					
取組の基本方針	01 協働のまちづくりの推進			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	平成27年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果	
対象（誰、何に対して事業を行うのか）	市内の未婚者（25～44歳）
手段（事務事業の内容、やり方）	市内関係機関等との連携協力により、独身の男女の出会い、交流の場を提供するイベント等を開催する。
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	独身の男女の出会いの場づくりを支援する。また、市の魅力をPRすることにより定住人口、交流人口の増加を図る。

指標・事業費の推移						
	区分	単位	25年度実績	26年度実績	27年度予算	28年度予算
対象指標 1	未婚者数（25～44歳）（国勢調査結果）	%	0	0	0	10,004
対象指標 2						
活動指標 1	イベント等の実施回数	回	0	0	0	2
活動指標 2						
成果指標 1	イベント等への参加人数	人	0	0	0	80
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	0	0	0	1,400
正職員人件費 (B)		千円	0	0	0	3,826
総事業費 (A+B)		千円	0	0	0	5,226

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
28年度	夏季1回、冬季1回の独身男女の出会いを支援する交流イベントを実施し、イベントと連動して、結婚相談支援等を含めたセミナー等を開催する。	委託料 1,400千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
28年度への改善方向性	実施内容を変えて複数回開催することにより、対象者の掘り起しにつながり、新たな男女の出会いの場の提供につながる。	減少	維持	増加
維持				
見直し				○
新規				
休止				
廃止 その他				

事業名：地域おこし協力隊活用推進事業

企画課 企画係

政策	08 協働			戦略					
取組の基本方針	01 協働のまちづくりの推進			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	平成28年度	終了年度	—	区分1	新規	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果	
対象（誰、何に対して事業を行うのか）	地域おこし協力隊員希望者
手段（事務事業の内容、やり方）	地域おこし協力隊員の募集、研修等の実施
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	意欲ある地域おこし協力隊員を募集、採用し、研修等により育成することで、庁内における活用推進を図る。

指標・事業費の推移						
	区分	単位	25年度実績	26年度実績	27年度予算	28年度予算
対象指標 1	受験者数	人	0	0	0	40
対象指標 2						
活動指標 1	採用者数	人	0	0	0	4
活動指標 2	研修実施回数	回	0	0	0	2
成果指標 1	研修受講人数	人	0	0	0	4
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	0	0	0	5,245
正職員人件費 (B)		千円	0	0	0	2,295
総事業費 (A+B)		千円	0	0	0	7,540

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
28年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>募集、採用事務</li> <li>住宅借上げ</li> <li>研修実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>募集採用経費 1,945千円</li> <li>住宅借上げ 2,728千円</li> <li>活動用車両保険料 72千円</li> <li>研修費 500千円</li> </ul>

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）			
28年度への改善方向性	人口減少下のまちづくりにおいて、地域を担う人材が不足している中、意欲ある職員が外部からの視点でまちづくりに参加することで、さらなる地域活性化を図るため、「地域おこし協力隊制度」を導入する。		減少	維持	増加
維持		向上			○
見直し		維持			
新規		低下			
休止					
廃止					
その他					

事業名：国際交流情報提供事業

秘書課 秘書係

政策	08 協働		戦略	
取組の 基本方針	02 国際交流の推進		プロジェクト	
			プログラム	
開始年度	平成10年度	終了年度	—	区分1
				継続
				区分2
				単独
				補助金

事務事業の目的と成果	
対象（誰、何に対して事業を行うのか）	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民</li> <li>・市内通勤、通学者</li> </ul>	
手段（事務事業の内容、やり方）	
<p>日本語に堪能で地域の国際化事業に理解と意欲のある外国人を市国際交流員（CIR）として継続的に雇用し以下の事業を実施する。</p> <p>1. 文書、刊行物等の翻訳、監修 2. 国際交流事業の企画、立案、実施協力          3. 地域住民・市職員に対する語学指導への協力 4. 地域住民の異文化理解交流活動への協力          5. 海外との連絡・調整、通訳、訪問客の接遇 6. 在住外国人へのサポート</p>	
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	
<p>1. 地域住民等に国際感覚や国際意識を持ってもらう 2. 地域住民等に異文化に対する理解を深めてもらう          3. 在住外国人にも住みやすい街にする</p>	

指標・事業費の推移						
	区分	単位	25年度実績	26年度実績	27年度予算	28年度予算
対象指標1	市民	人	120,802	120,335	120,335	119,587
対象指標2						
活動指標1	国際交流員が係った地域国際化のための講座・イベント等開催回数	回	70	72	70	80
活動指標2	海外と江別市とで交わした行政文書等の数	通	478	502	400	500
成果指標1	国際交流員が係った地域国際化のための講座・イベント等の参加者数	人	919	964	1,000	1,100
成果指標2						
	事業費 (A)	千円	4,822	4,830	4,998	5,659
	正職員人件費 (B)	千円	1,172	1,178	1,173	1,148
	<b>総事業費 (A+B)</b>	千円	<b>5,994</b>	<b>6,008</b>	<b>6,171</b>	<b>6,807</b>

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
28年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各種講演（出前講座、語学講座）</li> <li>・刊行物等の翻訳</li> <li>・市ホームページの作成</li> <li>・国際交流事業の協力助言</li> <li>・姉妹都市間の文書作成、連絡調整</li> <li>・在住外国人への情報提供 外</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国際交流員報酬 5,400千円</li> <li>・国際交流員費用弁償（旅費外） 250千円</li> <li>・パンフレット等作成経費 9千円</li> </ul>

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
28年度への改善方向性	<p>国際交流員の業務について、姉妹都市交流や情報提供、国際交流イベントの企画立案など、その量、質ともに年々増加しているため、報酬を見直した。</p>	減少	維持	増加
維持				
見直し				○
新規				
休止				
廃止				
その他				

事業名：江別国際センター施設管理費等補助金 秘書課 秘書係

政策	08 協働			戦略					
取組の 基本方針	02 国際交流の推進			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	平成 8年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	団体運営補助

<b>事務事業の目的と成果</b>									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
江別市国際交流推進協議会									
手段（事務事業の内容、やり方）									
江別市内の各国際交流団体等で構成された組織である「江別市国際交流推進協議会」に対し、同協議会が管理・運営している「江別国際センター」の事業運営費の一部を補助する。 補助金内訳：テナント賃借料、光熱水費、スタッフ人件費									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
国際交流施設が安定的に運営される。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	25年度実績	26年度実績	27年度予算	28年度予算
対象指標 1	江別市国際交流推進協議会の構成団体数	団体	22	23	23	24
対象指標 2						
活動指標 1	補助金額	千円	3,285	3,277	3,362	3,447
活動指標 2						
成果指標 1	利用者数	人	9,251	9,993	10,000	10,000
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	3,285	3,277	3,362	3,447
正職員人件費 (B)		千円	1,250	1,256	1,252	1,224
<b>総事業費 (A+B)</b>		<b>千円</b>	<b>4,535</b>	<b>4,533</b>	<b>4,614</b>	<b>4,671</b>

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
28年度	以下の事業を実施する江別市国際交流推進協議会に対し、活動拠点となる江別国際センターの施設維持管理のための補助金及び周年記念事業を実施するための補助金を支出する。 ・外国人との交流イベントの実施 ・英語、韓国語などの外国語講座 ・会報、ホームページでの広報 ・外国人に対するホームステイや通訳などのサポート支援 ・江別国際センター開設20周年記念事業（記念誌作成）	江別国際センター施設維持管理に対する補助金 3,447千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
28年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				
見直し			○	
新規				
休止				
廃止				
その他				



事業名：江別市都市提携委員会補助金

秘書課 秘書係

政策	08 協働			戦略					
取組の 基本方針	02 国際交流の推進			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	昭和52年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	団体運営補助

<b>事務事業の目的と成果</b>									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
江別市都市提携委員会									
手段（事務事業の内容、やり方）									
姉妹・友好都市交流を行う江別市都市提携委員会に対し、その事業費を補助する。 補助金内訳：学生及び市民派遣費、交換学生等受入費									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
江別市都市提携委員会に補助を行うことで、当委員会が以下の成果をあげることができる。 1. 異文化を理解し、広い視野をもった市民を増やす 2. 市民ボランティアとして活躍出来る人を増やす 3. 姉妹・友好都市との交流を通じて自分の国やまちの歴史や状況を客観的に理解し、郷土を愛する心を育むとともに、国際感覚を身につけ国際社会に貢献できることを目指す									

<b>指標・事業費の推移</b>						
	区分	単位	25年度実績	26年度実績	27年度予算	28年度予算
対象指標 1	江別市都市提携委員会委員数	人	44	44	44	44
対象指標 2						
活動指標 1	補助金額	千円	400	550	400	500
活動指標 2						
成果指標 1	姉妹都市・友好都市派遣人数	人	3	3	3	4
成果指標 2	姉妹都市・友好都市受入人数	人	3	4	3	4
事業費 (A)		千円	400	550	400	500
正職員人件費 (B)		千円	391	393	391	383
<b>総事業費 (A+B)</b>		<b>千円</b>	<b>791</b>	<b>943</b>	<b>791</b>	<b>883</b>

	<b>事業内容（主なもの）</b>	<b>費用内訳（主なもの）</b>
28年度	以下の事業内容を実施する江別市都市提携委員会に対し補助金を支出する。 ・高校生のグレスラム市相互派遣 ・国際交流イベントへの協力 ・姉妹都市、友好都市に関する市民PR ・姉妹都市、友好都市訪問団への助成 ・友好都市訪問団との交流	・江別市都市提携委員会への補助金：500千円

<b>改革案（2月時点）</b>		<b>改革方向性（コスト）</b>			
28年度への改善方向性	姉妹都市交流をさらに発展させるため、参加を希望する生徒が増加している「高校生相互交流事業」で、派遣、受入生徒をそれぞれ1名増員した。	改革方向性（成果）	減少	維持	増加
維持					○
見直し					
新規					
休止					
廃止 その他					

事業名：行政改革推進事業

政策推進課 主査（政策推進）

政策	09 計画推進			戦略					
取組の基本方針	01 自主・自立の市政運営の推進			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	平成13年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
市職員									
手段（事務事業の内容、やり方）									
<ul style="list-style-type: none"> <li>行政改革大綱に基づく行政改革推進計画を実施する。</li> <li>行政改革推進委員会を開催し、行政改革に関する意見や助言を求める。</li> <li>行政改革に関するセミナーを開催する。</li> </ul>									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
市職員が高い意識を持って、行政改革に取り組んでいる。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	25年度実績	26年度実績	27年度予算	28年度予算
対象指標 1	市職員数	人	1,143	1,151	1,151	1,156
対象指標 2						
活動指標 1	行政改革推進委員会開催回数	回	3	0	2	2
活動指標 2	行革関連事業等開催回数	回	12	3	3	3
成果指標 1	行政改革取組項目数	件	0	26	26	26
成果指標 2	行革関連事業参加者数	人	285	107	130	130
事業費 (A)		千円	227	64	177	179
正職員人件費 (B)		千円	6,641	4,712	5,084	3,443
総事業費 (A+B)		千円	6,868	4,776	5,261	3,622

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
28年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>江別市行政改革推進委員会の開催</li> <li>行政改革セミナーの開催</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>行政改革推進委員会開催経費 135千円</li> <li>行政改革セミナー開催経費 44千円</li> </ul>

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
28年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				
見直し				
新規				
休止				
廃止				
その他				

  

改革方向性（成果）	向上			
	維持	○		
	低下			

事業名：行政評価・外部評価推進事業

政策推進課 主査（政策推進）

政策	09 計画推進			戦略					
取組の 基本方針	01 自主・自立の市政運営の推進			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	平成16年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
<ul style="list-style-type: none"> <li>・市職員</li> <li>・市民</li> </ul>									
手段（事務事業の内容、やり方）									
<ul style="list-style-type: none"> <li>・評価調書の作成など、事務事業を基礎とする行政評価を行う。</li> <li>・行政評価にかかる指標把握等のため、市民アンケート調査を実施する。</li> <li>・行政評価にかかる職員の技能向上を目的として、庁内説明会や研修会を開催する。</li> <li>・市民公募委員を含む行政評価外部評価委員会を開催し、市が自ら行った行政評価（内部評価）に対して、外部評価を行うとともに、その結果を公表する。</li> </ul>									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
<ul style="list-style-type: none"> <li>・行政評価の手法を用いて、PDCAサイクルによる総合計画の推進が図られる。</li> <li>・外部評価を実施することにより、職員が行う内部評価を含めた行政評価の質が向上する。</li> </ul>									

指標・事業費の推移							
	区分	単位	25年度実績	26年度実績	27年度予算	28年度予算	
対象指標 1	市職員数	人	1,143	1,151	1,151	1,156	
対象指標 2	市民数	人	120,802	120,335	120,335	119,587	
活動指標 1	行政評価説明会等開催回数	回	15	1	2	2	
活動指標 2	外部評価委員会開催回数	回	0	5	8	8	
成果指標 1	まちづくり政策にかかる成果指標の目標達成割合	%	0	47.3	100	100	
成果指標 2	計画的に成果が上がっている事務事業の割合	%	90.7	89.5	100	100	
事業費 (A)		千円	3,704	2,446	3,239	3,076	
正職員人件費 (B)		千円	7,813	5,497	10,951	9,181	
総事業費 (A+B)		千円	11,517	7,943	14,190	12,257	

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
28年度	市民アンケートの実施 庁内研修会の開催 行政評価外部評価委員会の開催	市民アンケート実施経費 2,550千円 庁内研修会開催経費 6千円 行政評価外部評価委員会開催経費 470千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
28年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持		○		
見直し				
新規				
休止				
廃止				
その他				

事業名： 広域行政推進事業

企画課 企画係

政策	09 計画推進			戦略					
取組の 基本方針	01 自主・自立の市政運営の推進			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	平成 9年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

<b>事務事業の目的と成果</b>									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
札幌広域圏組合構成市町村（札幌市、江別市、千歳市、恵庭市、北広島市、石狩市、当別町、新篠津村）を中心とした広域圏域の住民、行政機関。									
手段（事務事業の内容、やり方）									
札幌広域圏市町村が実施する協力連携事業に負担金を支払う。									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
圏域市町村にまたがる具体的な共同ソフト事業を実施することにより、圏域全体の行政課題解決や圏域全体の振興を図る。									

<b>指標・事業費の推移</b>						
	区分	単位	25年度実績	26年度実績	27年度予算	28年度予算
対象指標 1	構成市町村数	市町村	8	8	8	8
対象指標 2						
活動指標 1	札幌広域圏組合負担金額	千円	598	599	598	598
活動指標 2						
成果指標 1	研修事業参加職員数（構成市町村）	人	220	229	220	229
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	598	599	598	598
正職員人件費 (B)		千円	2,344	5,104	2,347	2,678
<b>総事業費 (A+B)</b>		<b>千円</b>	<b>2,942</b>	<b>5,703</b>	<b>2,945</b>	<b>3,276</b>

	<b>事業内容（主なもの）</b>	<b>費用内訳（主なもの）</b>
28年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>研修事業（共同研修事業、新規採用職員後期合同研修事業）</li> <li>情報発信事業（広報事業）</li> <li>周遊促進事業（地域旅リメイク事業）</li> <li>人材・文化交流事業（ジュニアコンサート事業、札幌圏アート振興事業）</li> <li>食の恵み推進事業（逸品発掘事業）</li> <li>地方創生推進事業（札幌圏移住促進事業、札幌圏出合いの場創出事業）</li> <li>他</li> </ul>	構成市町村負担金 598千円

<b>改革案（2月時点）</b>		<b>改革方向性（コスト）</b>		
28年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				
見直し				
新規				○
休止				
廃止				
その他				

事業名： 広聴活動事業

広報広聴課 主査（広報広聴）

政策	09 計画推進			戦略					
取組の 基本方針	02 透明性と情報発信力の高い市政の推進			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

<b>事務事業の目的と成果</b>									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
市民									
手段（事務事業の内容、やり方）									
現状の広聴手段である①面談、②広聴箱、③郵便、④電話、⑤FAX、⑥Eメール、⑦施設見学会、⑧市民アンケート、⑨各種懇談会、⑩パブリックコメントの利用増、機会の拡充を図るとともに、それらの有効性の検証を行う。									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
市政に対する市民の意見、要望、提言等を伝える媒体を整備することで、市民が市政に関する意見を伝えやすくなる。									

<b>指標・事業費の推移</b>						
	区分	単位	25年度実績	26年度実績	27年度予算	28年度予算
対象指標 1	市民	人	120,802	120,335	120,335	119,587
対象指標 2						
活動指標 1	市民が市へ意見や要望を伝える手段の数	個	10	10	10	10
活動指標 2						
成果指標 1	1年間に寄せられた意見や要望の件数（陳情・要望・市民の声）	件	342	243	347	312
成果指標 2	1年間に寄せられた意見や要望の件数（パブリックコメント）	件	219	135	135	135
事業費 (A)		千円	0	0	0	0
正職員人件費 (B)		千円	4,688	4,712	4,693	4,591
<b>総事業費 (A+B)</b>		<b>千円</b>	<b>4,688</b>	<b>4,712</b>	<b>4,693</b>	<b>4,591</b>

	<b>事業内容（主なもの）</b>	<b>費用内訳（主なもの）</b>
28年度	市民からの意見・要望を所管課に伝え、市政に反映させる。	人件費事業

<b>改革案（2月時点）</b>		<b>改革方向性（コスト）</b>		
28年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				
見直し			○	
新規				
休止				
廃止				
その他				

事業名： 広報えべつ発行事業

広報広聴課 主査（広報広聴）

政策	09 計画推進			戦略					
取組の基本方針	02 透明性と情報発信力の高い市政の推進			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果	
対象（誰、何に対して事業を行うのか）	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民</li> <li>・世帯</li> </ul>	
手段（事務事業の内容、やり方）	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ A4判1色刷（表・裏表紙はカラー印刷）、月平均28頁、毎月1日付、年12回発行。</li> <li>・ 編集の一部及び印刷、製本については業務委託し、発行に係る企画、取材、編集、版下作成を直接職員が行う。</li> <li>・ 配布については、自治会に郵送し各戸配布を依頼している他、ホームページへの掲載、自治会未加入者等のために市内の大学、公共施設、JR駅、郵便局、大学・企業の寮、コンビニ、スーパー、病・医院、理容院等にも設置。</li> </ul>	
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	
市政の基本方針を始め、業務・事業紹介、制度改正、市民活動団体の紹介等、市民生活に係る事項について市民に周知される。	

指標・事業費の推移						
	区分	単位	25年度実績	26年度実績	27年度予算	28年度予算
対象指標1	市民	人	120,802	120,335	120,335	119,587
対象指標2	世帯数	世帯	54,921	55,236	55,236	55,530
活動指標1	月平均作成部数	部	47,332	47,293	47,200	47,200
活動指標2	広報配布箇所数	箇所	290	288	286	282
成果指標1	配布率	%	84.9	84.4	84.5	84.5
成果指標2	広報えべつを読んでいる市民の割合	%	89.5	87.8	89.5	87.8
事業費(A)		千円	11,858	13,431	13,450	13,953
正職員人件費(B)		千円	11,720	11,780	11,733	11,477
総事業費(A+B)		千円	23,578	25,211	25,183	25,430

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
28年度	広報えべつの発行	広報えべつ作成経費 13,897千円 広報えべつ発送準備経費 56千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
28年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持			○	
見直し				
新規				
休止				
廃止				
その他				

事業名： ウェルカム江別事業

広報広聴課 主査（広報広聴）

政策	09 計画推進			戦略	4 えべつの魅力発信シティプロモート				
取組の基本方針	02 透明性と情報発信力の高い市政の推進			プロジェクト	A ニーズにあわせた効果的な情報発信				
				プログラム	③ 江別市に住んでもらうための生活情報の発信				
開始年度	平成23年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
江別市外の人									
手段（事務事業の内容、やり方）									
江別市の魅力をPRするパンフレット等及びホームページを作成・運営する。									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
江別市に対する認知度、イメージが向上する。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	25年度実績	26年度実績	27年度予算	28年度予算
対象指標 1	江別市外の人（把握困難）	人	0	0	0	0
対象指標 2						
活動指標 1	パンフレット等作成部数	部	8,000	18,000	23,000	33,000
活動指標 2	ホームページ更新回数（年間）	回	4	2	12	12
成果指標 1	パンフレット等配布部数（年間）	部	8,000	18,000	23,000	33,000
成果指標 2	ホームページのアクセス件数（年間ページビュー）	件	28,589	27,988	22,700	24,500
事業費 (A)		千円	1,212	2,880	2,640	2,625
正職員人件費 (B)		千円	1,172	2,356	2,347	2,295
総事業費 (A+B)		千円	2,384	5,236	4,987	4,920

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
28年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>江別の良さをPRするパンフレットの作成及びホームページのコンテンツの充実</li> <li>市内全域のマップの作成</li> <li>市勢要覧の増刷</li> <li>プロモーション動画の作成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>江別の良さをPRするパンフレットの作成等経費 20,000部 1,664千円</li> <li>市内全域のマップの作成経費 10,000部 459千円</li> <li>市勢要覧の増刷経費 3,000部 178千円</li> <li>プロモーション動画の作成経費 324千円</li> </ul>

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
28年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				
見直し				
新規			○	
休止				
廃止				
その他				

事業名：ホームページ運営事業

広報広聴課 主査（広報広聴）

政策	09 計画推進			戦略					
取組の基本方針	02 透明性と情報発信力の高い市政の推進			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	平成13年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
市民および江利市の情報を必要としているインターネット利用者									
手段（事務事業の内容、やり方）									
市公式ホームページによる市政情報やイベント情報などの提供									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
市政情報などを迅速かつ分かりやすく提供することで、市と市民が行政情報を共有する。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	25年度実績	26年度実績	27年度予算	28年度予算
対象指標 1	インターネット利用者数（測定不能）	人	0	0	0	0
対象指標 2						
活動指標 1	情報更新回数（年間）	件	2,826	4,199	2,500	3,000
活動指標 2						
成果指標 1	ホームページアクセス数（年間）	回	4,991,723	5,232,348	4,737,000	4,902,000
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	6,875	727	665	713
正職員人件費 (B)		千円	15,626	7,853	7,822	7,651
総事業費 (A+B)		千円	22,501	8,580	8,487	8,364

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
28年度	市ホームページの管理・運営	<ul style="list-style-type: none"> <li>コンテンツ管理システムの保守運営経費 665千円</li> <li>コンテンツ管理システムの回線使用料等 48千円</li> </ul>

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
28年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				
見直し				
新規			○	
休止				
廃止				
その他				



事業名：えべつシティプロモーション事業

政策推進課 主幹（シティプロモート）

政策	09 計画推進			戦略	4 えべつの魅力発信シティプロモート				
取組の基本方針	02 透明性と情報発信力の高い市政の推進			プロジェクト	A ニーズにあわせた効果的な情報発信				
				プログラム	④ 江別市のイメージづくり				
開始年度	平成26年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	補助	補助金	

<b>事務事業の目的と成果</b>									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
市外居住者									
手段（事務事業の内容、やり方）									
<ul style="list-style-type: none"> <li>・市内大学・企業・経済団体などとともに推進組織を設置し、官民一体的なプロモーションを検討の上、実践する。</li> <li>・まちのイメージを高めるための戦略的な取組を構築する。</li> <li>・効果的な情報発信を検討の上、実施する。</li> </ul>									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
江別市に対する認知度、イメージを向上させる。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	25年度実績	26年度実績	27年度予算	28年度予算
対象指標 1	市外居住者	千人	0	126,962	126,840	126,840
対象指標 2						
活動指標 1	推進プロジェクト等の活動回数	回	0	17	15	18
活動指標 2						
成果指標 1	江別市の認知度の道内順位	位	0	19	20	19
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	0	983	0	3,833
正職員人件費 (B)		千円	0	7,853	7,822	7,651
総事業費 (A+B)		千円	0	8,836	7,822	11,484

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
28年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・江別シティプロモート推進協議会の会議開催</li> <li>・協議会の推進プロジェクトの運営と実践活動</li> <li>・協議会ウェブサイト、フェイスブックページの運営</li> <li>・GPS連動スマホアプリを活用した都市イメージづくり</li> <li>・フリーペーパーへの記事掲載</li> <li>・市民や学生による情報発信の支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・協議会の推進プロジェクトにおける実践活動の推進委託 1,478千円</li> <li>・フリーペーパーへの記事掲載委託 1,080千円</li> <li>・学生による情報発信PRポスター印刷発送等委託 346千円</li> <li>・GPS連動スマホアプリ活用委託 300千円</li> <li>・協議会ウェブサイト更新委託 130千円</li> </ul> <p>※26年度補正予算を27年度へ繰越したため、27年度当初予算が0円である。 また、27年度補正予算により27年度予算現額は3,220千円である。 【27年度繰越予算…1,269千円、27年度補正予算額…3,220千円、27年度総事業費…12,311千円】</p>

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
28年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持		○		
見直し				
新規				
休止				
廃止				
その他				

事業名：男女共同参画啓発事業

政策推進課 主査（政策推進）

政策	09 計画推進			戦略					
取組の 基本方針	03 男女共同参画による市政運営の推進			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	平成14年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民</li> <li>・市職員</li> </ul>									
手段（事務事業の内容、やり方）									
<ul style="list-style-type: none"> <li>・男女共同参画意識啓発のため、講演会の開催、リーフレットの配布等を実施する。</li> <li>・市ホームページ等により、男女共同参画に関する情報発信を行う。</li> <li>・男女共同参画審議会を開催し、市の男女共同参画に関する取組みに対する意見等を求める。</li> </ul>									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
<ul style="list-style-type: none"> <li>・男女共同参画意識が高まる。</li> <li>・男女共同参画の視点に基づき、施策や事務事業が実施される。</li> </ul>									

指標・事業費の推移							
	区分	単位	25年度実績	26年度実績	27年度予算	28年度予算	
対象指標 1	市民	人	120,802	120,355	120,335	119,587	
対象指標 2	市職員数	人	1,143	1,151	1,151	1,156	
活動指標 1	講演会等開催回数	回	5	3	4	4	
活動指標 2	審議会開催回数	回	5	1	3	3	
成果指標 1	講演会等参加者数	人	266	137	150	150	
成果指標 2	男女共同参画の必要性を感じた参加者の割合	%	87.2	85.7	90	90	
事業費 (A)		千円	1,197	299	908	920	
正職員人件費 (B)		千円	7,813	1,571	1,956	1,530	
総事業費 (A+B)		千円	9,010	1,870	2,864	2,450	

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
28年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・啓発講演会等の開催</li> <li>・デートDV防止啓発リーフレットの作成、配布（4大学新入生等）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・講演会開催経費 371千円</li> <li>・デートDV防止啓発リーフレット作成経費 80千円</li> <li>・審議会等開催経費 240千円</li> </ul>

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
28年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				
見直し				
新規				
休止				
廃止				
その他				

  

改革方向性（成果）	向上			
	維持	○		
	低下			

事業名：北海道移住促進事業

企画課 企画係

政策	99 政策の総合推進			戦略					
取組の 基本方針	01 政策の総合推進			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	平成18年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

<b>事務事業の目的と成果</b>									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
移住検討者									
手段（事務事業の内容、やり方）									
北海道移住促進協議会に参加し、首都圏に住む団塊の世代等をメインターゲットに、プロモーション活動を行う。									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
江別市の住みやすさが的確に伝わることで、移住促進が図られる。									

<b>指標・事業費の推移</b>						
	区分	単位	25年度実績	26年度実績	27年度予算	28年度予算
対象指標 1	全国総人口	千人	127,298	127,083	126,597	126,193
対象指標 2						
活動指標 1	プロモーション活動回数	回	3	4	3	4
活動指標 2						
成果指標 1	移住に関する問合せ件数	件	8	10	8	10
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	50	50	50	50
正職員人件費 (B)		千円	781	785	782	2,295
<b>総事業費 (A+B)</b>		<b>千円</b>	<b>831</b>	<b>835</b>	<b>832</b>	<b>2,345</b>

	<b>事業内容（主なもの）</b>	<b>費用内訳（主なもの）</b>
28年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・移住ワンストップ窓口</li> <li>・イベント（首都圏移住フェア等）でのパンフレット配布</li> </ul>	協議会負担金 50千円

<b>改革案（2月時点）</b>		<b>改革方向性（コスト）</b>			
28年度への改善方向性	維持 見直し 新規 休止 廃止 その他	改革方向性(成果)	減少	維持	増加
向上					
維持					○
低下					

事業名：えべつ冬季イベント事業

企画課 企画係

政策	99 政策の総合推進			戦略					
取組の 基本方針	01 政策の総合推進			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	昭和56年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

<b>事務事業の目的と成果</b>									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
市民									
手段（事務事業の内容、やり方）									
青年会議所をはじめ、市内各種団体、市内大学生等と実行委員会を組織し、冬季イベントを開催する。									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
雪を素材とした市民交流・親子のふれあいの場を提供する。									

<b>指標・事業費の推移</b>						
	区分	単位	25年度実績	26年度実績	27年度予算	28年度予算
対象指標 1	市民	人	120,802	120,335	120,335	119,587
対象指標 2						
活動指標 1	実行委員会予算額	千円	3,293	3,256	3,256	3,248
活動指標 2						
成果指標 1	来場者数	人	18,000	14,000	18,000	20,000
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	0	0	0	0
正職員人件費 (B)		千円	1,563	2,356	1,955	2,295
<b>総事業費 (A+B)</b>		<b>千円</b>	<b>1,563</b>	<b>2,356</b>	<b>1,955</b>	<b>2,295</b>

	<b>事業内容（主なもの）</b>	<b>費用内訳（主なもの）</b>
28年度	冬季イベント実行委員会の運営及び冬季イベント（スノーフェスティバル）の開催	人件費事業

<b>改革案（2月時点）</b>		<b>改革方向性（コスト）</b>		
28年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				
見直し				
新規				○
休止				
廃止				
その他				

事業名：江別市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進事業 企画課参事（地方創生）

政策	99 政策の総合推進			戦略					
取組の 基本方針	01 政策の総合推進			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	平成28年度	終了年度	—	区分1	新規	区分2	単独	補助金	

<b>事務事業の目的と成果</b>									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
市民									
手段（事務事業の内容、やり方）									
「江別市まち・ひと・しごと創生有識者会議」を開催、運営し、人口減少と地域経済の縮小への対応を目的として策定した「江別市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の施策の効果について検証を行う。									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
毎年度、「江別市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の施策の効果を検証し、必要に応じ見直しすることで、人口減少と地域経済の縮小に対応する、江別市ならではの地方創生を推進する。									

<b>指標・事業費の推移</b>							
	区分	単位	25年度実績	26年度実績	27年度予算	28年度予算	
対象指標 1	市民	人	0	0	0	119,587	
対象指標 2							
活動指標 1	有識者会議開催回数	回	0	0	0	4	
活動指標 2							
成果指標 1	検証した評価指標数	件	0	0	0	54	
成果指標 2							
事業費 (A)		千円	0	0	0	457	
正職員人件費 (B)		千円	0	0	0	7,651	
<b>総事業費 (A+B)</b>		<b>千円</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>8,108</b>	

	<b>事業内容（主なもの）</b>	<b>費用内訳（主なもの）</b>
28年度	有識者会議の開催、運営	・会議開催経費（4回） 457千円

<b>改革案（2月時点）</b>		<b>改革方向性（コスト）</b>				
28年度への改善方向性	有識者会議を開催、運営し、総合戦略の施策の効果を毎年度検証する。		減少	維持	増加	
維持		改革方向性（成果）	向上			○
見直し			維持			
新規			低下			
休止						
廃止						
その他						

